

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千五百二十七號

昭和十八年十月二十八日 (木)

海軍大臣官房

○令 達

官房經第一一七三號

當分ノ閣下士官兵ニシテ各種練習生(練習生ニ準ズル身上取扱ヲ受クル者ヲ含ム以下之ニ同ジ)ヲ命ゼラレ又ハ教程ヲ終ヘ練習生ヲ免ゼラレ轉勤ノ爲本邦關東州又ハ滿洲内ヲ旅行スル場合ニハ左ノ各號ニ依リ旅費ヲ支給ス

一 日當、宿泊料、食卓料

海軍内國旅費規則第三十一條又ハ海軍南洋群島關東州滿洲旅費規則第十四條ノ規定ヲ準用ス

二 移轉料

海軍内國旅費規則ノ適用ヲ受クル者ニ對シテハ同規則第六表額ノ二分ノ一ニ相當スル額トス

三 着後手當

支給セズ

練習生海軍練習航空隊令ニ依リ修業ノ爲艦船部隊其ノ他ノ各部ニ派遣セラレタル場合ハ給與上臨時勤務者ト

看做シ前項ノ規定ヲ準用ス但シ移轉料ハ之ヲ支給セズ

本令ハ昭和十八年十月十五日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十一年官房第四七五五號及昭和十六年官房第一七六五號ハ昭和十八年十月十四日限り之ヲ廢止ス

昭和十八年十月二十七日

海 軍 大 臣

(參照) 海軍會計法規類集三卷六三九、六四二頁

官房經機密第七六六號

昭和十七年官房機密第一三三三九號中第二項ヲ削ル

昭和十八年十月二十七日

海 軍 大 臣

(參照) 海軍機密會計法規類集二二八ノ四頁

○通 牒

航本機密第一五二九一號

昭和十八年十月二十六日

海軍公報 (部内限) 第四千五百二十七號

昭和十八年十月二十八日

一一五七

0298

關係各廳長殿
海軍航空本部總務部長

航空隊(基地)裝備ノ短波送信機用空中線ニ關スル件照會

首題空中線ハ特ニ指示スル場合ノ外自今短三、短四、短五號送信機ニハ空中線同調器使用ノ接地式單條空中線ヲ、短二號ニハ可及的「ダブルット」空中線ヲ展張スルコトニ實施相成度

○ 辭令

軍令部部員海軍中佐 渡名喜守 定
兼臨時歐洲戰軍事調查部部員ヲ命ス(計開軍令部)

○ 雜款

○ 館山海軍砲術學校普通科砲術練習生入校先
本校ニ入校スベキ普通科砲術練習生ハ各所轄ヨリ直接入校スルコトナク海軍砲術學校規則第三十條ニ依リ「砲術學校普通科練習生」トシテ選抜ノ上一旦横須賀海軍砲術學校ニ入校シ適性検査等ヲ施行後本校普通科砲術練習生ト定メラレ入校スベキモノナルニ就テハ可然取計相成度

(館山海軍砲術學校)

○ 事務開始

第二百十二設營隊準備事務所ハ十月十八日吳海兵團内ニ於テ事務ヲ開始セリ

矢矧艦裝具事務所ハ十月十六日佐世保海軍工廠内ニ於テ事務ヲ開始セリ

伊號第四十五潛水艦裝具事務所ハ十月十九日佐世保海軍工廠内ニ於テ事務ヲ開始セリ

○ 事務所撤去

第二十九號掃海艇艦裝具事務所ハ十月二十二日撤去セリ

○ 正誤

八月十日附公報(部内限) 辭令欄八三八頁下段十三行目「南西方面海軍民政府」ハ「第二南遣艦隊司令部」ノ、十月二十一日附公報(部内限) 雜款欄一一二七頁下段「海軍主計中尉松本正久」ハ「海軍主計中尉松本正久」ノ孰モ誤

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十八年十月二十八日(木)
海軍大臣官房

○郵便物發送先通知 (宛先ハ下段ノ通記載ノコト)

○艦船ノ部

- 一 呂百五潛、八海丸、神國丸
- 一 立石
- 一 國後
- 一 龍鳳、雪風、聖川丸、雁
- 一 第二航空戰隊司令部
- 一 友鶴

- 同 横須賀局氣付 呂百五潛、八海丸、神國丸
- 同 「ツ壹〇五」經由 立石
- 同 「ツ貳〇六」經由 國後
- 同 佐世保局氣付 龍鳳、雪風、聖川丸、雁
- 同 龍鳳司令部
- 同 「イ參六」司令部經由 友鶴

○陸上ノ部

- 一 第十八警備隊
- 一 第二四一設營隊
- 一 第十一特別工作部本部
- 同 香港支部
- 同 マニラ支部
- 同 昭南支部
- 同 ジャカルタ支部

- 同 横須賀局氣付 「セ貳參七八六」
- 同 「セ四七七九〇」
- 同 吳局氣付 「セ貳壹イ四參」
- 同 佐世保局氣付 第五軍用郵便所經由 「イ四參イ四〇」
- 同 吳局氣付 「テ貳壹イ四參イ四〇」
- 同 佐世保局氣付 「イ壹九イ四參イ四〇」
- 同 吳局氣付 「セ貳貳イ四參イ四〇」

海軍公報 (部内限) 號外

七七

0300

- 同 同 チラチャツブ派遣隊
 - 同 昭南支部蘭貢派遣隊
 - 同 香港支部上海派遣隊
 - 一 第二三一設營隊
 - 一 第七三二航空隊
 - 一 第二海軍衣糧廠
 - 一 第五十二根據地隊司令部
-
- 吳局氣付「セ四參 イ四參 イ貳七」
 - 佐世保局氣付「イ貳五 イ四參 イ貳七」
 - 同 第一軍用郵便所經由「イ四參 イ貳七」
 - 同 「イ貳九 ッ壹〇六」
 - 豐橋海軍航空隊氣付「イ九貳」
 - 姫路市北條二五〇 第二海軍衣糧廠
 - 北海道稚内町クサンル、稚内分遣隊氣付「ウ四〇」

司令、主計長宛 新東北丸
 隊機關長、軍醫長宛 東郷丸
 追テ司令宛ニシテ各艇ニモ必要ノモノハ直接各艇
 宛送付相成度

(第二十五掃海隊)

0301

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千五百二十八號

昭和十八年十月二十九日(金)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房經第一一七五號

大東亞戰爭中艦營需品、燃料又ハ治療品ノ繰替供給ヲ爲シタル場合ノ取扱ハ昭和六年官房第三三五六號ノ規定ニ拘ラズ左ノ各號ニ依ルベシ

昭和十八年十月二十七日

海 軍 大 臣

- 一 海軍軍需部又ハ海軍病院ニ於テ在庫品ノ繰替供給ヲ爲シタルトキハ三月分ヲ取纏メ別紙様式第一ニ依ル繰替供給通報三通ヲ調製シ供給先及所管ノ海軍經理部ヲ經由シ一通ハ海軍省經理局ニ、二通ハ海軍省軍需局又ハ海軍省醫務局ニ之ヲ送付スルモノトス
- 二 海軍省軍需局又ハ海軍省醫務局ニ於テ前號ノ通報ヲ受ケタルトキハ繰替供給ヲ爲シタル額ニ付繰替供給ヲ受ケタル廳ノ主務部局トノ間ニ豫算移用ノ手續ヲ爲スモトス

前項ノ手續ヲ以テ繰替供給ニ對スル補填ニ代フルモノトス

現品補充ニ要スル豫算ハ海軍省軍需局又ハ海軍省醫務局ヨリ當該繰替供給ヲ爲シタル海軍軍需部又ハ海軍病院ニ配付ノ手續ヲ爲スモノトス

三 海軍省軍需局又ハ海軍省醫務局ニ於テ前號第一項ノ手續ヲ爲シタルトキハ別紙様式第二ニ依ル繰替供給補填通報ヲ海軍省經理局ニ送付スルモノトス
(別紙二葉添)

官房經第一一七八號

當分ノ間海軍航空技術廠及海軍航空廠ニ勤務スル軍人軍屬及工具ニ給與スル航空糧食ニ關シ左ノ通定ム
昭和十八年十月二十七日

海 軍 大 臣

第一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ航空糧食ヲ給與ス

一 海軍航空技術廠飛行實驗部ニ於テ飛行機ノ操

海軍公報 (部内限) 第四千五百二十八號

昭和十八年十月二十九日

一二五九

0302

縦、機上作業ノ配置ニ在ル空中勤務者並ニ實驗、研究、調査及審査ノ爲隨時航空機搭乘ノ配置ニ在ル者

二 海軍航空技術廠ノ検査官同附ニシテ飛行機ノ試験、操縦ノ配置ニ在ル者並ニ試験及検査ノ爲隨時航空機搭乘ノ配置ニ在ル者

三 海軍航空廠補給部ニ於テ航空機ノ整備及検査並ニ飛行試験ノ爲隨時航空機搭乘ノ配置ニ在ル者
第二條 前條ノ航空糧食ハ別表ニ依リ之ヲ給與ス

第三條 航空糧食ハ附屬費(整理符號一四一)支辨トス

官房備第二四一號

昭和十二年官房第四四九六號中左ノ通改正ス
新設海軍軍用郵便所ノ事務開始ハ追テ之ヲ定ム

昭和十八年十月二十八日

海軍大臣

表中第三十六海軍軍用郵便所ノ項ノ次ニ

| | | | | | | |
|-------------|---------|--------|--------|-----|----|-------|
| 第三十八海軍軍用郵便所 | 第十三根據地隊 | 佐世保鎮守府 | 第一南遣艦隊 | 監督官 | 兼務 | 一人 |
| | | | | 所長 | 專任 | 一人 奏任 |
| | | | | 員 | 專任 | 八人 判任 |

加フ

(參照) 昭和十二年官房第四四九六號ハ海軍軍用郵便所設置ノ件ナリ(昭和十七年十月六日本欄)

官房備第二四二號

海軍勤勞者中央表彰審査委員會規程中左ノ通改正ス

昭和十八年十月二十八日

海軍大臣

第一條 本委員會ハ勤勞顯功章令第一條ノ規定ニ依リ海軍大臣ヨリ勤勞顯功章ヲ受クベキモノノ銓衡及審査並ニ返納スベキモノノ審査ヲ行フ
第二條 第二項委員中「兵備局第四課長」ヲ「兵備局第三課長及第四課長」ニ改メ末尾ニ「、施設本部總務部第一課長」ヲ加フ
第四條中「者」ヲ「モノ」ニ改ム

0303

官房經機密第七六八號

昭和十六年官房機密第一二六三九號中左ノ通改正ス

昭和十八年十月二十八日

海軍大臣

第一項第五號中「潜水艦基地隊」ノ上ニ「航空基地隊」ヲ加フ

附則

本令ハ昭和十八年十月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

(參照) 昭和十六年官房機密第一二六三九號ハ職地ニ在ラザルモ特別ノ命令ニ依リ對敵行動ヲ取ル者ノ給與ニ關スルナリ(昭和十六年十二月三十一日海軍公報(部内限))

官房需第一八八號ノ二

昭和十八年官房需第一八八號中左ノ通改正ス

昭和十八年十月二十八日

海軍大臣

「高等文官及同待遇者(部内限待遇者ヲ含ム)」ノ下ニ「准士官(准士官室ナキ艦船ノ乗員ニ限ル)」ヲ、「准士官」ノ下ニ「前項ニ該當スル者ヲ除ク」ヲ加フ

(參照) 昭和十八年官房需第一八八號(昭和一八、九、四海軍公報(部内限))

海軍公報(部内限) 第四千五百二十八號

昭和十八年十月二十九日

一一六一

官房空機密第二二五四號

左ノ各號ニ依リ海軍航空技術廠ニ於テ航空關係醫務衛生講習ヲ實施ス

所屬長官ハ第四號講習員ヲ派遣スベシ但シ任務其ノ他

ノ都合ニ依リ派遣シ能ハザルモノアルトキハ其ノ旨報告スルト共ニ海軍航空技術廠長ニ通報スルモノトス

昭和十八年十月二十八日

海軍大臣

一 講習科目

(イ) 實施部隊軍醫長トシテ職責遂行上必要ナル航空智識竝ニ航空醫學

(ロ) 航空機搭乗員ノ疲勞豫防竝ニ同恢復對策

(ハ) 輾近航空醫學研究ノ趨勢竝ニ其ノ實績

(ニ) 極寒地方及熱帶地域ニ於ケル航空部隊ノ保健竝ニ防疫對策

(ホ) 選兵醫學上ノ諸問題

二 講習期日

昭和十八年十二月六日ヨリ三日間

三 講習指導官及同輔佐官

(イ) 指導官 海軍航空技術廠長

(ロ) 指導官 海軍航空技術廠長

(ハ) 指導官 海軍航空技術廠長

(ニ) 指導官 海軍航空技術廠長

(ホ) 指導官 海軍航空技術廠長

- (一) 海軍航空技術廠職員 適宜
- (二) 海軍軍醫學校職員 七名
- (三) 海軍航空本部職員 三名
- (四) 海軍省醫務局職員 一名

四 講習員

- (イ) 海軍航空隊軍醫長
- (ロ) 海軍航空基地隊軍醫長

但シ戰地ニ在ル部隊及任務行動上列席シ得ザル部隊ノ軍醫長ヲ除ク

五 海軍航空技術廠長ハ講習實施ニ關スル細目ヲ定メ横須賀鎮守府司令長官ノ承認ヲ得テ之ヲ實施スルモノトス

六 旅費

臨時軍事費、臨時軍事費、雜給及雜費、出張旅費支辨トシ請求ヲ俟ツテ別途配付ス但シ講習員ノ旅費ハ昭和十八年官房經第七號ニ依ル

○ 通牒

官房艦第五〇六號

左ニ對スル臨時海軍規格ヲ別紙ノ通定ム

別紙ハ海軍艦政本部ニ於テ所要ノ向ニ之ヲ配付ス
昭和十八年十月二十七日
海軍次官
蒸氣管用鐵目無鋼管

軍務一機密第八六三號
昭和十八年十月二十八日
海軍省軍務局長

關係各廳長殿

彈火藥庫海水弁、注水弁及弁棒ノ作動
檢査ニ立會ノ件申進

艦船造修規則第六十九條ノ規定ニ依リ彈火藥庫海水弁、注水弁及弁棒ノ作動檢査ヲ施行ノ場合作動ノ良否
確認ノタメ當該艦船ノ關係職員ヲ立會ハシメラレ度

經豫第三號ノ二二六

昭和十八年十月二十八日

海軍省經理局長

關係各支出官、資金前渡官吏殿

日本銀行代理店設置ノ件通知

國庫事務ヲ取扱フ日本銀行代理店ヲ神奈川縣高座郡「寒川町」ニ設置シ之ガ事務ヲ取扱フコトト相成候

0305

艦本機密第一號ノ一四八七二

昭和十八年十月二十八日

海軍艦政本部總務部長

關係各廳長殿

八九式尖銳高射信管防濕器供給ノ件通知

首領兵器返ク左記ニ依リ供給ノコトニ定メラレ候
追テ防濕器ハ防濕帽一〇〇箇及補用品トシテ防濕劑
若干量ヲ格納シアルモノニシテ防濕帽ハ信管防濕ノ
目的ヲ以テ砲側準備彈藥包及其ノ他信管裝着彈丸ニ
之ヲ裝備シ置キ彈丸使用ノ場合之ヲ裝脱スルモノニ
シテ吸濕劑ソ有効ナル限何回ニテモ使用シ得ベク吸
濕劑ノ交換其ノ他取扱ノ詳細ニ關シテハ各格納箱添
付ノ説明書ニ依ラレ度

差當リ供給スベキ砲種並ニ數量

| | |
|---------|------------|
| 砲種 | 一門當リ |
| 八糎高角砲 | 一箇 |
| 七糎野戰高射砲 | (防濕帽一〇〇箇入) |

供給時期並ニ供給方針

南方方面ヲ優先的トシ差當リ左ノ通供給シ以後逐次
關係砲使用部隊ニ供給ス

| 時期 | 供給先 | 數量 |
|-------|-----------|-----|
| 十一月中旬 | 南東方面艦隊司令部 | 四〇箇 |
| | 南西方面艦隊司令部 | 三〇箇 |
| | 第四艦隊司令部 | 三〇箇 |

○雜款

○試驗問題發送

普通科 經理術 特技章付與第二回銓衡試驗問題
衣糧術

右十月十三日左記ノ通り發送濟
(試驗施行期日十二月十四日(火)
十五日(水))

記

- 一 聯合試驗參加不能ト認メラル所轄ヘハ直送
- 二 聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部長及各警備府副官宛送付
- 三 行動變更其ノ他ノ都合ニヨリ臨時必要ノ分トシテ若干部數各海軍人事部長各警備府副官及上海海軍特別陸戰隊副官宛送付シ置ケリ

海軍公報(部内限)第四千五百二十八號

昭和十八年十月二十九日

一一六三

0306

未着若ハ臨時必要ヲ生ジタル向ハ最寄ノ右諸官ヨリ受領スルカ又ハ直接本校ニ請求相成度

(海軍經理學校)

普通科看護術特技章付與第二回銓衡試驗問題

(採用試驗施行期日昭和十八年十二月十四日)

右十月十九日左記ノ通發送濟、未着又ハ別ニ必要ノ向ハ至急通知相成度

記

一 聯合試驗參加各部ノ分ハ横須賀海軍人事部長宛送付

二 單獨試驗施行ノ所轄ヘハ直送

三 聯合試驗參加豫定ノ所轄ニテ豫定變更ノ爲聯合試驗不能ノ向ニ對スル分トシテ横須賀海軍人事部長宛若干部送付

(横須賀海軍病院)

○練習生採用試験問題送付ニ關スル件

當隊所在遠隔並ニ交通不便ナル爲首題ノ件期日迄ニ間ニ合ハザル事屢有之候ニ就テハ自今急送扱トシ左ニ依リ發送相成度

横須賀郵便局氣付(第十三海軍軍用郵便所經由)

ウ六八 ウ六六

(横須賀鎮守府第二特別陸戰隊)

○司令驅逐艦變更

第十驅逐隊司令ハ十月七日司令驅逐艦ヲ風雲ニ變更セリ

○司令潜水艦變更

第五十一潜水隊司令ハ九月二十八日司令潜水艦ヲ呂號第六百六潜水艦ニ變更セリ

○郵便物ニ關スル件

往々ニシテ當隊ト第一航空輸送隊トヲ誤認シ書類ヲ誤送セラレル向モ有之當隊宛ノ文書ハ左記宛送附相成度

記

横須賀局氣付 ウ二〇 ウ一九二經由 ウ一〇七 (第一輸送隊)

○事務開始

第二四設營隊第二部隊ハ十月十日佐世保海軍施設部第三課ニ於テ事務ヲ開始セリ

○本日普通公報發行セズ

様式第一
番 號

昭和 年 月 日

(昭和十八年十月二十九日海軍公報(部内限))

海軍省 軍需部

海軍省 經理局
海軍省 醫務局 殿

供給先 () 經營需品(燃料、治療品) 繰替供給通報 (自 年 月分)

| 供給年月日 | 供給金額 | 記 | 事 |
|-------|------|---|---|
| | | | |
| | | | |
| | | | |

補填科目

備考

- 一 供給金額ハ經營需品及治療品ハ帳簿價格、燃料ハ毎年度初頭海軍省軍需局長ノ定ムル價格ニ依ルモノトス
- 二 本通報ハ供給先別、品目別ニ別紙トシ且品目毎ニ一連番號ヲ附スルモノトス
- 三 繰替供給ヲ受ケタル應ハ本通報同付ノ時期ニ於テ補填スベキ物件ノ支辨科目ヲ附記スルモノトス
- 四 記事欄ニハ「昭和 年官房(需)第、號ニ依リ何々公試運轉」等ノ如ク訓令又ハ認許ノ年及番號ト共ニ用途ノ概要ヲ記入スルモノトス

0308

様式第二

昭和 年 月 日

(昭和十八年十月二十九日海軍公報(部内限))

海軍省經理局御中

(海軍省經理局)

艦營需品(燃料、治療品)繰替供給補填通報

| 科 | 目 | 補填額 | 同上ニ對スル繰替供給額 | 同通報番號 | 記事 |
|---|---|-----|-------------|-------|----|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

0309

(別表)

(昭和十八年十月二十九日海軍公報(部内限))

| 考 備 | 航 空 時 時 常 | | | | | 類 別 | |
|--|--|---|---|-----------|-----------|---------|---------|
| | 食 加 増 時 常 | 食 加 増 時 常 | 食 加 増 時 常 | 食 加 増 時 常 | 食 加 増 時 常 | | |
| 一 本表ノ量額ハ最上限ノ給與量額ヲ示ス 二 常時増加食ハ現ニ航空機ニ搭乘ヲ爲シタル日ニ限り必要ニ應ジ之ヲ給與ス但シ下士官兵以外ニ在リテハ鶏卵ニ限り給與ス 三 航空時増加食ハ其ノ品種中特種茶養食、果實酒ノ外一種ヲ給スルモノトス 四 規定品ノ一品ヲ以テ換給品ノ二品ニ交換スルモノトス但シ括弧内ノ品種ハ二品ヲ同時ニ交換スルモノトス 五 前各號以外ノ航空糧食整理區分ハ廳長ノ定ムル所ニ依ル | 航空特種飲料 | 綜合ビタミン食 | 鶏卵 | 〇・〇三立 | 六 | 規 定 品 種 | |
| | 〇・〇三立 | 六 | 九〇瓦 | 〇・〇三立 | 六 | 日 額 | |
| | 〇・一四立 | 五〇 | 三〇〇 | 〇・一四立 | 五〇 | 三〇〇 | 一 回 量 額 |
| | 炭酸入葡萄酒 | 乾果 | 罐詰果物 | 粉末牛乳 | 果實酒 | 果實酒 | 換 給 品 種 |
| | 〇・〇三六 | 〇・二四五 | 〇・二七五 | 〇・〇三六 | 〇・〇三六 | 〇・〇三六 | 量 額 |
| | 一、平野水、礦泉水等ノ炭酸飲料 二、清涼飲料ハラムネ、サイダー 三、果汁ハ葡萄液、林檎液、夏蜜柑等トス 四、果實酒ハ葡萄酒類トス 五、火酒ハツボスキ、焼酎トシ燒酎(泡盛ヲ除ク)ヲ給スル場合ハ一回ノ量額〇・〇五三立トス | 一、航空特種飲料ハレモン共ノ他ノ果實ヲ原料トセル特種嗜好飲料トス 二、混合用ビタミン食 三、混合用ビタミン食(A)食一瓦 四、混合用ビタミン食(B)食一瓦 五、混合用ビタミン食(C)食一瓦 六、養食(海軍ビタミン食)六瓦ヲ得 | 一、左ノ飛行ヲ爲ス者ニ對シ常時増加食ノ外之ヲ給ス (1) 二時間以上ノ飛行 (2) 高度三千米以上ノ飛行 (3) 急降下試験 二、清涼飲料ハラムネ、サイダー 一、平野水、礦泉水等ノ炭酸飲料トス 三、果汁ハ葡萄液、林檎液、夏蜜柑等トス 四、果實酒ハ葡萄酒類トス 五、火酒ハツボスキ、焼酎トシ燒酎(泡盛ヲ除ク)ヲ給スル場合ハ一回ノ量額〇・〇五三立トス | 〇・一八立 | 〇・一八立 | 記 事 | |

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十八年十月二十九日(金)
海軍大臣官房

○郵便物發送先通知 (宛先ハ下段ノ通記載ノコト)

○艦船ノ部

一 熊野、平安丸司令部、山東丸

一 鬼怒

横須賀局氣付 熊野、平安丸司令部、山東丸
佐世保局氣付 鬼怒

○陸上ノ部

一 第五三一航空隊

一 第九三八航空隊

一 第五十一警備隊加熊別分遣隊

一 第十一防疫班

一 第四十一防空隊

一 第五十三防空隊

一 第十四警備隊

一 佐世保航空隊古仁屋派遣隊

一 佐世保航空隊沖繩派遣隊

一 旅順海軍豫備學生教育部

横須賀局氣付 「ウ壹貳參 ヲ壹〇參」

同 「ウ壹〇四 ヲ貳五五」

同 「ウ壹貳九 ヲ壹五壹 ヲ貳四七」

同 「セ貳參 七九壹」

吳局氣付 「セ參貳 一七〇」

同 「セ壹四 七八七」

佐世保局氣付 「イ貳九 一六四」

鹿兒島縣熊毛郡古仁屋町 佐世保航空隊古仁屋派遣隊

福岡縣雁ノ巣航空局福岡支局氣付 那覇飛行場 佐世保航空隊沖繩派遣隊

關東州旅順市富士町 旅順海軍豫備學生教育部

海軍公報 (部内限) 號外

七九

0311

海軍公報 (部内限) 號外

司令、主計長宛
隊機關長、軍醫長宛

風雲
秋雲
(第十驅逐隊)

八〇

0312

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千五百二十九號

昭和十八年十月三十日(土)
海軍大臣官房

○ 通 牒

契八機密第一八號ノ九六〇

昭和十八年十月二十五日

海軍省經理局長

關係廳長殿

海軍配當船ニ對スル課税免除ノ件通知

首題ノ件ニ關シ別紙甲號照會ニ對シ乙號ノ通回答ニ接シ候條可然處理相成度

(別紙甲號)

契八機密一八ノ八七二

昭和十八年十月二日

海軍省經理局長

大藏省主稅局長殿

海軍配當船ニ對スル課税免除ノ件照會

今般船舶運營會所屬船舶ノ船腹備上ヲ行ヒ海軍配當船トシテ軍需品等ノ輸送ニ從事セシムルコトト相成候ニ

就テハ昭和十八年九月一日以降該當船舶ニ對シテ噸税及稅關棧橋、繫船岸壁等使用料ハ之ヲ免除ノコトニ御取計相成度

(別紙乙號)

藏稅第二九六八號

昭和十八年十月七日

大藏省主稅局長

海軍省經理局長殿

十二月二日附契八機密一八ノ八七二ヲ以テ御照會相成候海軍配當船ニ對スル課税等免除ノ件了承本件ニ關シテハ別紙寫ノ通各稅關長宛通牒致置候條御了知相成度此段及回答候也

(別紙寫)

藏稅第二九六八號

昭和十八年十月七日

大藏省主稅局長 松隈 秀雄

各稅關長宛

海軍公報 (部内限) 第四千五百二十九號

昭和十八年十月三十日

一一六五

0313

海軍配當船ニ對スル課稅等免除ノ件ニ關シ別紙寫ノ通
海軍省經理局長ヨリ依頼越候條爾今海軍配當船ニ付テ
ハ本年六月二日附藏稅第一四五七號通牒(陸軍配當船
ノ取扱方ニ關スル件)ニ準ジ陸軍配當船ト同様ニ御取
扱相成度此段及通牒候也

(別紙寫)

藏稅第一四五七號

昭和十八年六月一日

主 稅 局 長

各稅關長宛

從來軍配當船ニ付テハ積載貨物ノ全部ガ軍需品ナル場
合ヲ除キ外國貿易船トシテ取扱フ様通牒致置候處今般
陸軍省整備局長ヨリ陸軍配當船ハ船舶輸送經理部(在
宇品港)ニ於テ全船腹ヲ備上ゲ陸軍配當船取扱要領ニ
ヨリ航行、警戒、積荷等總テ陸軍徵備船ニ準ジ船舶司
令官ノ指揮監督ノ下ニ運航セシムルコトトナリタルヲ
以テ噸稅及岸壁使用料ハ之ヲ免除相成度旨依頼越候ニ
付爾今陸軍配當船ニ付テハ噸稅及岸壁使用料ニ關スル
限リ徵備船ニ準ジ外國貿易船以外ノ船舶トシテ御取扱

相成度此段及通牒候也
追而陸軍配當船ノ入出港手續、積荷目錄ノ提出及稅
關官吏ノ乘監取締等ニ關シテハ總テ外國貿易船ト同
様ニ御取扱相成度爲念申添候

醫第一〇八六號

昭和十八年十月二十九日

海軍省軍務局長

海軍省醫務局長

海軍各鎮守府、警備府、艦隊參謀長
海軍練習聯合航空總隊參謀長
海軍施設本部總務部長 殿

現地ニ進出スル艦船部隊ニ對スル細菌學的
檢便ノ強化徹底ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シテハ從來共各部ニ於テ極力實施中ナル
處最近徵用工具便乘ノ輸送船内ニ於テ一時ニ多數ノ傳
染性疾患發生シ之ガ防疫ニ多大ノ時間ト勞力トヲ浪費
シ輸送計畫ニモ影響ヲ及ボシタル實例有之斯テハ作戦
上著シキ支障ヲ來ス虞ナシトセザルニ付此ノ際一層之
ガ強化徹底ヲ圖リ以テ防疫ノ完備ヲ期スル様取計相成
度

0314

艦本機密兵電第一二六三號

昭和十八年十月二十九日

海軍艦政本部總務部長

横須賀、吳 各海軍軍需部長殿

佐世保、舞鶴 探照燈補用反射鏡及前面硝子供給ニ關スル件通牒(砲術長主管)

爾今探照燈補用反射鏡及前面硝子ハ左記標準ニ依リ供給スベシ

追テ既成艦船(部隊)モ右ニ準ジ定數變更手續中ニ付最寄軍需部ニ還納スベシ

記

探照燈補用反射鏡及前面硝子供給標準

| | | |
|-----------|---------------------|---|
| 探照燈供用先 | 供給 | 數 |
| 艦 船 | 供給セズ | |
| 内地陸上部隊、學校 | 供給セズ | |
| 外地 陸 上部隊 | 同徑探照燈四基又ハソノ端數毎ニ一個トス | |

一 遠隔地作戰等ニシテ長日月内地ヲ離ルル場合左ノ標準ニ依リ臨時供給ス

| | |
|---------------------|---------------------|
| 探照燈二基以上ヲ裝備スル艦船 | 同徑探照燈四基又ハソノ端數毎ニ一個トス |
| 探照燈一基ヲ裝備シテ探照燈一基ヲ裝備シ | 各隊毎ニ一個トス |
| 探照燈一基ヲ裝備シテ探照燈一基ヲ裝備シ | 供給セザルヲ立前トス |

○ 辭 令

(各通) 貳千六百圓

貳千百拾圓

徵用中自今年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(註海軍省)

氣象技手 具志堅 典富

水路部附兼海軍氣象部附ヲ免ス(註同)

通信書記 赤澤 善四郎

東京海軍通信隊附ヲ免ス(註同)

遞信局事務官 小野 泰之助

第三十五海軍軍用郵便所長ヲ免ス

海軍公報(部内限)第四千五百二十九號

昭和十八年十月三十日

一一六七

0315

(各通) 通信書記 堀部 茂雄
同 / 小河原和三郎

第三十五海軍軍用郵便所員ヲ免ス(以上計三員同)
事務員 三津林 清治

第十二海軍軍用郵便所員ヲ免ス(計四員同)
同 山崎 静夫

(各通) 同 須山 優
集配員 大郷 福治郎

第八海軍軍用郵便所員ヲ免ス(計四員同)
事務員 中野 四五美

第三十二海軍軍用郵便所員ヲ免ス(計四員同)
通信局書記 関口 清

(各通) 通信局書記 奥山 専太

第五海軍軍用郵便所員ヲ命ス
通信局書記 藤森 銀久

(各通) 同 成瀬 錠市
同 水野 勇

第二十五海軍軍用郵便所員ヲ命ス
通信書記補 赤岡 正男

第二十五海軍軍用郵便所員ヲ命ス
通信手 伊藤 勉

但シ身分ノ取扱ハ判任官待遇トス

事務員 小林 晴男

第二十五海軍軍用郵便所員ヲ命ス
但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以上計四員同)

千四百七拾圓 中村 四郎

千四百七拾圓 柴田 義男

(各通) 千四百七拾圓 武内 良一

千四百七拾圓 坂本 鹿名夫

千參百圓 鮫島 利近

徵用中自今年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限委任官待遇トス(以上計三員同)
海軍中將 鍋島 茂明

兵食研究調査委員會委員長ヲ命ス

海軍規格審議會議員ヲ命ス

能率増進對策調査委員會委員長ヲ命ス

地方事情調査委員會委員長ヲ命ス

海軍武功調査委員會委員長ヲ命ス

燃料政策調査委員會委員長ヲ命ス

海軍少將 岡野 篤夫

地方事情調査委員會委員長ヲ命ス(以上計三員同)

0316

第一課勤務ヲ命ス(計五五) 海軍省人事局) 海軍中佐 福地 誠夫

海軍主計少尉 岡田 正次

驅逐艦若月ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命シ置キタル處之ヲ免ス(九) 支出官 海軍省經理局長)

海軍主計大尉 佐藤 政行

第四海軍施設部瓦地ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス(計四四)

第百一海軍經理部西貢支部長兼部員海軍主計少佐 吉岡 秀之

第百一海軍經理部西貢支部ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計中佐 増澤 英一

横須賀海軍經理部部員名古屋支部部員海軍主計大尉 山本 正三

艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計大尉 池田 亮三

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上計三三)

○ 雜 款

○十月三日ヨリ同八日ニ至ル軍人援護強化運動實施ニ當リ海軍大臣宛左記要旨ノ電アリ

軍人援護強化運動ニ當リ皇軍將兵各位ノ御勞苦ニ對シ深甚ナル感謝ノ意ヲ表シ益武運長久ヲ祈ルト共ニ誓ツテ軍人援後ノ完璧ヲ期ス
右前線部隊長へ御傳達ヲ乞フ

- 宮 城 縣 知 事
- 琦 玉 縣 知 事
- 愛 媛 縣 知 事
- 鹿 兒 島 縣 知 事
- 大日本仁義會東北支部聯合會
- 宮城縣塩釜市銃後奉公會長
- 愛知縣半田市銃後奉公會長
- 三重縣津市銃後奉公會
- 大日本傷痍軍人會愛知支部總會
- 愛媛縣 西 條 市 長

0317